



コースを走って安全運転学ぶ

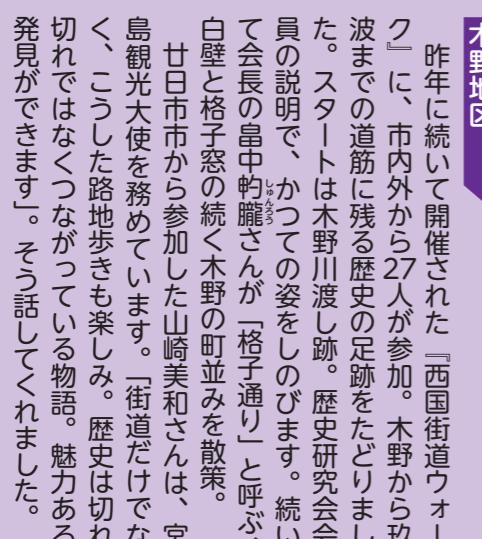
さかえ公園

①安全確認をする仁田さん。②交差点の曲がり方を指導。左折のときは、車に巻き込まれないよう注意を。③ちょっと渋滞気味なので、自転車を下りて待ちます。

高齢者の交通事故が相次ぎ、11月末には「交通死亡事故多発警報」が発令された大竹署管内。交通安全協会が7回目となる『高齢の自転車利用者交通指導』を行いました。平交通課長からは、運転中や歩行中には「信号は青になんでも、すぐには渡らず安全確認をする」「冬場は黒い服の着用率が高いので、反射材を身に着けて自ら身を守るように」など、注意点の説明がありました。

実際に信号機を設置してコースを走ってみると、日頃乗り慣れているものの、案外交通ルールが守られていないこともあります。

講習を終えた仁田茂さん(93歳 南栄2)は、「子どもの飛び出しなどでヒヤッとしたこともあります。用心するという意識を持って乗ります」と話してくれました。



歴史ある街道をゆく
11/24 SUN

畠中会長の説明で、木野の町並みや路地を散策。



12月14日 小方地区社会福祉協議会の協力で、小方小4年生41人と保護者が、「しめ飾りづくり」に取り組みました。親子ともに初めての経験に苦労しながらも、指導者の手ほどきを受けて約2時間で完成。4年生のお兄ちゃんと一緒に参加した2年生の中津胡春ちゃん(写真左)は、「縛をねじるのが難しかった」と、お父さんと一緒に作ったしめ飾りを見てくれました。

12月11日 子育て支援センターどんぐりHOUSEのクリスマス会が総合市民会館で催され、38組の親子(子ども41人)が参加しました。クリスマスらしい、三角のとんがり帽子を作った後は、エプロンシアターの劇でお楽しみ。サンタさんも登場し、「パブリカ」をみんなで歌ったり踊ったり。最後は、サンタさんから手作りのクリスマスカードと、ハート形の風船をプレゼントされました。

11月19日 大竹駅前の花の道広場に、NPO法人ハローの仲間が飾り付けたイルミネーション。点灯式に多くの人が詰めかけました。カウントダウンで一斉に点灯。「令和」の文字に灯がともります。4万球の光に包まれて演奏を披露した大竹高校吹奏楽部長の下阪彩乃さん(2年)は、「地域の人の前で演奏できてうれしい」。来場者には400個の焼き芋が振る舞われました。



①親子で仲良くゴールイン。②若松さんは家族で選手宣誓。左から優奈ちゃん、伊吹己くん、環奈ちゃん、麻美さん。③スタートの合図とともに一斉にダッシュ！④子どもたちの頑張りを大型遊具のロボボも見てるぞ。⑤最後の直線。ラストスパートに声援。⑥タイムはどうだったかな？⑦ゴール前のデッドヒート。⑧表彰台の大竹中陸上部の今田徳人くんたち上位入賞者。

競技の後は、小方地区社会福祉協議会が振る舞う温かいぜんざいが、心地よい疲れを癒やしてくれたようです。

競技の後は、小方地区社会福祉協議会が振る舞う温かいぜんざいが、心地よい疲れを癒やしてくれたようです。



fのついているものは、これ以外の写真も大竹市公式フェイスブックで見ることができます。

